

challenge

第3号

発行 尾道市立久保中学校
文責 生徒指導主事

いじめについて考えました。

先日いじめについての授業を行い、いじめについて考えました。改めていじめは絶対にあってはいけないということやいじめは被害者だけでなく、保護者の方や友人までの辛い思いがするということに気付いたという生徒が多かったです。久保中が安心・安全な学校になるために、全員でいじめのない学校にしましょう。授業での振り返りを生徒総会で学級委員が代表して発表しました。

○いじめられる側にも理由があるという意見がありますが僕は違うと思います。「たかしくん」は遅刻が多いということを理由に暴力を受けていました。遅刻をしなくなったら、今度は牛乳を残しているということを利用していじめ始めました。つまり、いじめている2人の少年にとって理由は何でもよかったです。「いじめたい」という思いが先にあって、後から理由を作ったのだと思います。いじめられる側にも原因がある、というのは加害者が自分を正当化するための言い逃れです。相手が気に入らないなら正々堂々と意見すればいいのであっていじめてよいという理由などありません。いじめを見るのは楽しくないし、見ると心が痛みます。しかし、いじめている相手を止めるのは難しく、勇気を出して行動を起こしたことで新たないじめがおこることもあります。それでも怪我や大事故になる前に勇気を出して止めなければいけません。同じ思いを持った人が必ずいるはずで、被害者には見方がいると教えるためにも、自分から声をかけ、いじめを無くしていきたいと思いました。

○授業を通して、自分も自分以外も人から大切にされ、支えられていることが分かりました。心配してくれている人が悲しむのでいじめはしてはいけないことが分かりました。いじめを目撃したら仲の良い友達や家族に相談すべきだと思います。

○自分が怪我をしてしまったけどいじめからたかしくんを救って後悔はしていないと感じました。もし、自分が誰かからいじめられているのを目撃したら、僕もまるこのようにいじめをとめたいと思います。また、自分だけでやめることができなかつたら、悲しい思いをする人を無くすために、先生や仲間にも助けを求めて、止めるようにします。

久保中学校生徒会による いじめ撲滅宣言

1. わたしたちは、いじめを絶対許しません。
1. わたしたちは、いじめを見て見ぬふりを見ません。
1. わたしたちは、困っている人を見たら助けます。
1. わたしたちは、自分がされて嫌なことを、例えば暴力・悪口・噂話・悪ふざけなどを相手にしません。
1. わたしたちは、仲間はずれをつくりません。
1. わたしたちは、もしいじめられたら誰かに相談をします。

いじめとは



- ①一定の人的関係のある者から、
- ②心理的・物理的な行為
(インターネットを通じて行われるものも含む)
- ③心身の苦痛を感じているもの

体育大会の練習が始まりました。



6月1日(金)から体育大会の練習が始まりました。

○体調を万全にして練習に参加しよう

早寝、早起きを心がける、朝食をしっかりとる、十分な水分補給をする。

○服装を整えて練習に参加しよう

体操服(夏用上下、中に着る服は白、ハーフパンツには紐を必ず通す)、規程靴、白ソックス(くるぶしが見えないもの)

※熱中症予防のため、練習に限り帽子の着用を許可します。(当日は着用不可)

華美でないキャップ(ハット、サンバイザーは不可)を各自持参してください。